

ファイナル展

うまはく
所蔵
優品選

2023・12/9 (土)

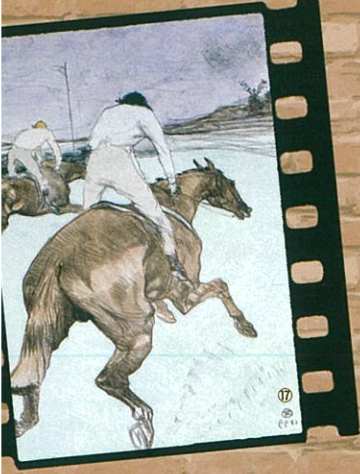
2024・1/28 (日)

※会期中展示替えがあります

馬の博物館
EQUINE MUSEUM OF JAPAN

開館時間 10:00～16:30(入館は16:00まで)
休館日 月曜日(1月8日は開館)、12月28日～1月4日、1月9日
入館料 大人:200円 / 小中高生:30円(毎週土曜日は小中高生無料)
主催 公益財団法人 馬事文化財団

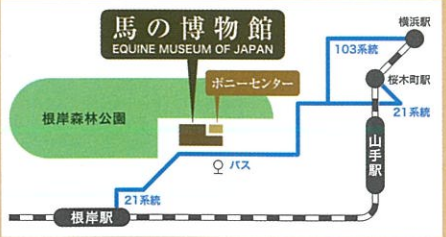
うまはく
「馬博」の愛称で親しまれてきた当館は、馬に関する資料を専門に収集を続けてきました。現在までに形成したコレクションは、歴史・民俗・美術工芸・競馬等多岐に渡ります。本展覧会では、それらを精選し披露いたします。永い歳月をかけて馬と人とのかかわりのなかで生み出された、古今東西の多種多様な文物を通して、馬の奥深い魅力をお楽しみください。



表面：
 ①住吉具慶「源氏物語図色紙 蛭」(部分) 江戸時代前期 ②「黄石公張良図沈金鞍」(重要文化財・部分) 室町時代
 ③葛飾北斎「馬尽 競馬香」(部分) 文政5年(1822) ④板谷慶舟廣當「流鏝馬図巻」(部分) 江戸時代中期
 ⑤「埴輪馬」 古墳時代(6世紀) ⑥「厩図屏風」(部分) 桃山時代
 ⑦永林信実「横浜名所之内 大日本横浜根岸万国入競馬興行ノ図」(部分) 明治5年(1872)
 ⑧狩野素川章信「馬図巻」(部分) 江戸時代後期 ⑨「三彩女子騎馬俑」 唐時代
 ⑩エドガール「ドガ」前肢を上げる馬」 1865~81年頃 ⑪狩野探偵守道「巻狩図屏風」(部分) 文化8年(1811)
 ⑫歌川国芳「東都富士見三十六景 昌平坂乃遠景」(部分) 弘化元年(1844)
 裏面：
 ⑬明治38年根岸春季競馬「エンペラーズカップ」優勝馬主賞品 明治38年(1905)
 ⑭「御成敗式目」(部分) 鎌倉時代後期写 ⑮「牡丹流水時絵鞍・鏡」 寛文13年(1673)
 ⑯ポニーセンター開場日の様子 昭和52年(1977)撮影
 ⑰アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック「騎手」 1899年 ⑱「山形形鏡板巻」 紀元前10世紀
 ⑲「鉾岩石(馬の腸結石)」 江戸時代 ⑳曲り家内部 ㉑雲谷等願「馬図」(部分) 江戸時代初期
 ㉒馬の博物館外観
 ※すべて馬の博物館所蔵

馬の博物館 EQUINE MUSEUM OF JAPAN

〒231-0853 横浜市中区根岸台1-3 根岸競馬記念公苑
 TEL 045-662-7581 URL <https://www.bajibunka.jrao.ne.jp/uma/>
 アクセス 横浜市営バス「滝の上」下車すぐ



- JR根岸駅 2番バスのりばから21系統・桜木町駅前行
- JR桜木町駅 6番バスのりばから21系統・市電保存館前行
- JR横浜駅東口 7番バスのりばから103系統・根岸台/本牧車庫前/根岸駅前行